

2019年度 丸山保育園 自己評価表

(保育理念)

明るく・強く・たくましく
丈夫な身体と人を愛する心を養う

(保育方針)

個性を見出し、長所を引き出しな
がら、心身ともに明るく健康な子
どもに育つ環境をつくる。

A : よくできている
C : 一部改善が必要

B : わりとできている
D : 改善しなければならない

	内 容	評価	意見・改善策
保 つ 育 目 標 に	(1) 保育士一人一人が、丸山保育園の保育理念、保育方針を理解している	A	保育理念や保育方針を理解し、子どもの成長を見守りながら子ども一人ひとりの個性を大切にす るよう心掛けている。
	(2) 子ども一人一人の主体性を大切にした保育をしている	A	
	(3) すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種を尊重している	A	
保 育 に つ い て	(1) 保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の様子や興味を把握して、 年間計画、月のカリキュラム、週案を立てている	A	一人ひとりに保育計画を立て、担任同士意見交換する事の重要性を感じます。保育園内の素材や用具の活用は出来ていたが、より活かした活動が出来るよう改善していきたい。 同じ保育の繰り返しではなく、保育の幅を広げていけるよう、職員で話し合う場や研修の場を作っていきたいと思う。
	(2) 3歳未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に保育計画を立てている	A	
	(3) 素材・用具を適切に活用している	B	
	(4) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	B	
	(5) 職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている	A	
	(6) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい	A	
食 育 に つ い て	(1) 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	A	栄養士との給食会議を毎月行うことで、食育計画も充実したものが出来ている。アレルギー対応の園児が多いが、間違えないよう安全に気を配り、職員間、保護者と連携を大切にすすめていくことができた。
	(2) 栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている	A	
	(3) アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り適切な対応を行っている	A	
役 職 員 研 修 分 担 構 成	(1) 職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って 行っている	A	それぞれの仕事を責任もって行い、職員全体で助け合う事が出来ている。
	(2) 危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている	A	
	(3) 園内外の研修は計画を立て実行している	A	

	内 容	評価	意見・改善策
保護者支援・情報	(1) 保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている	A	保護者の方と子どもの成長の話をしたりして、お母さんが笑顔になれるように努めています。どの保護者に対しても、保育園の思い、方針を理解していただけるように、日頃から関係を作っていきたいと思います。
	(2) 保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	A	
	(3) 様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている	A	
	(4) 園だより、クラスだより、掲示板、ホームページ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	A	
	(5) 子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	A	
	(6) 職員に、園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	A	
開かれた 保育園	(1) 小学校と連携し、情報交換をする機会を持つ	A	体験学習を通して小学校との連携が取れています。また、気になる子については、市の保健師さんとの連携を取りながら情報を今日を共有できている。
	(2) 気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら対応している	A	
子育て支援	(1) 地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	C	ホームページやポスター等で保育園の様子は発信できているが、地域の受け入れについては課題がたくさんある。
	(2) 子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように努めている	A	
	(3) 園生活の子どもの様子を地域にも発信している	A	

総合反省

今まで保育で学んだこと、キャリアパス研修に参加し、自分の役割を理解し、保育の向上に努める事が出来、その事で保育者として成長に繋がったと思います。日々の保育では、担任同士、保育感を一致できるようにきるように中心となり話し合いがうまくできたと思います
 同じ年齢であってもいつも一緒という事はない。子どもたちの発達に合わせて保育をする事が大切だということはあるのだが、一人ひとりを伸ばすことができたか、言葉かけによって伸びようとしている芽をつんだのではと保育を振り返ります。
 保護者の方にとって安心して預けていただける園であること、選ばれる園であるには、職員間で連携を取り、いろいろな意見を出し考えていきたいと思います。
 自己評価が自己完結的なものにならず、保育の質の向上に結び付くよう今後も計画的に取り組みたいと思います。

組 氏名